

24年まあじ漁獲可能量(TAC)期中改定案について

(単位: 万トン)

魚種	系群	資源状態		ABClimit(日本EEZ)					TAC				備考
		水準	動向	22年	23年	24年	24年再評価	漁獲シナリオ (管理基準)	22年	23年	24年当初	24年改訂案	
まあじ	<p>【中期的管理方針】 太平洋系群については、資源水準の維持を基本方向として、管理を行うものとする。 対馬暖流系群については、大韓民国及び中華人民共和国等と我が国の水域にまたがって分布し、大韓民国及び中華人民共和国等においても採捕が行われていることから、関係国との協調した管理に向けて取り組みつつ、資源の維持若しくは増大することを基本に、我が国水域への来遊量の年変動も配慮しながら、管理を行うものとし、資源管理計画に基づく取組の推進を図るものとする。</p>												<p>【24年TAC設定の考え方】 太平洋系群及び対馬暖流系群について、中期的管理方針に則して、ベースとするABCを、太平洋系群については漁獲シナリオ②の「親魚量のBlimitへの回復(2.4万トン)」、対馬暖流系群については漁獲シナリオ③の「現状の親魚量の維持(15.2万トン)」とし、これらの合計値17.6万をTAC数量とする。</p> <p>【24年TAC期中改訂の考え方】 当初TAC設定のベースとしたABCの再評価の結果、太平洋系群が2.1万トン、対馬暖流系群が20.5万トンとなったことから、これに合わせた数量22.6万トンにTAC数量を改訂する。</p>
	太平洋	中位	減少	3.0	3.3	2.4	2.1	親魚量のBlimitへの回復(②)					
	対馬暖流	中位	横ばい	19.4	18.7	15.2	20.5	現状の親魚量の維持(③)					
合計				22.4	22.0	17.6	22.6		22.4	22.0	17.6	22.6	